

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	新所沢公民館主催事業	所管	教育委員会教育総務部 新所沢公民館
			Tel 2924-2955

事業の目的 (何の為に 行うか)	市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際に生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民。	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	7,100	人

活動の内容	(何を したか)	①職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会又は実行委員会により、事業の企画・立案、運営方法等を検討する。 ②生涯学習情報紙及び公民館だより、チラシ等を活用して参加者を募集する。 ③事業終了後は、学習の記録や参加者の意見、感想等を取りまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。							
		活動実績	項目名 主催事業数	18 ----- 単位 件	項目名 事業参加者に対する5段階評価アンケートの実施	719 ----- 単位 件	項目名 アンケート結果の分析	664 ----- 単位 件	

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	7,194	7,200	16,124	47.6

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	参加者の満足度割合	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100	90 ----- 単位 %	92 ----- 単位 %	1.0 ----- 単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合評価	拡充 縮小 統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 []	終了
	予算	現状どおり	増額	減額	終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	120708	TEL	2924-2955		
事業コード	新所沢公民館主催事業							
120713								
開始年度		昭和	47	年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	第3次所沢市生涯学習推進計画			社会教育法・所沢立公民館設置及び管理				
	関連・類似事業	文化活動支援事業(社会教育課)・家庭教育推進事業(社会教育課)			条例・所沢市立公民館設置及び管理条例 施行規則・所沢市地区体育館条例				
	総体計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち	施策	4節 社会教育	中柱	1 人と地域をはぐくむ社会教育の推進	小柱	(3) 地域とともにあゆむ公民館活動の充実
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 29 位			・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○				

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に) 市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方 公民館主催講座の受講者数				
	対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人	利用数	単位	平成 18 年度	7,576	人
			平成 19 年度	339,058	人			平成 19 年度	7,100	人
	事業の具体的な内容及び実施方法 ①職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会又は実行委員会により、事業の企画・立案、運営方法を検討する。 ②生涯学習情報紙及び公民館だより、チラシ等を活用して参加者を募集する。 ③事業終了後は、学習の記録や参加者の意見、感想等を取りまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
平成19年度中に改善した点 市民の学習要求に沿うよう講座のアンケート等を参考に、市民要求の高い講座に着目した新たな講座を試験的に実施。 意欲のある企画運営委員を求めため委員を公募するなどし、それぞれの講座・事業の中心的役割を担ってもらうような仕組みの強化を図った。										

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		6,586	7,194	7,199	
	決算 (見込み含む)		6,626	7,200		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(1.40 人) (0.20 人)	(1.70 人) (0.20 人)			
	正規職員人件費	2.00 人	18,400	0.95 人	8,924	
	公債費					
	事業費合計		25,026	16,124		
	財源内訳	一般財源		24,512	15,555	7,199
		国・県支出金				
		受益者負担金		514	569	
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)		74.1	47.6			
利用数一単位あたり(単位:円)		3,303.3	2,271.0			

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	主催事業数	年間事業数	件	17	18	18	
		事業参加者に対する5段階評価アンケートの実施	アンケート回答件数	件		719	1180	
		アンケート結果の分析	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数	件		664	944	
	成果分析	参加者の満足度割合	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100	目標値		90	90	90
実績					92			
達成率					102%			

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		類似・関連事業などとの整理・統合		受益と負担の関係	受益者負担の有無
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	団塊の世代が大量に定年を迎える時代となり、公民館の需要は益々多様化していくものと思われる。主催事業に関しては、受講者の生涯にわたる学習に対しての切掛けとすべきであり、講座終了後は出来るだけ受講生による自立したサークルとなるような仕組みづくりが必要と思われる。今後とも公民館が実施する主催事業は地域住民の満足度を考慮しながら実施していく必要がある。				

⑧二次評価	一次評価	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	評価日				
	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	412
	施策の体系	4-1環境教育・環境学習の推進	施策の方向	4-1-2学習の場や機会の提供
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
基本目標				
主要課題				
施策の方向				